

第3日

【小倉競輪場】 電投番号 [8 1 #]

★ ミッドナイト競輪 ★

2022/M/D

■ ■ 1 R ■ ■ 出走表 (本命率 7 0 %)

<展望>『動き良好「大崎」が逃げ飛ばす』

予選の動きも悪くなかった①(大崎)、2日目は兵動秀治を突っ張り通し、2周近く逃げて2着に残ったのが今回の調子か、「先行1車」ならば油断せずしっかり逃げて押し切りが有力視される。番手は2日目にマークしてた④(中畑)、競りが無くてスンナリでも付いて行くのがやっとなのに、重量級⑦(中山)の動向が、2日目は長尾博幸に競り勝って居り、こゝでも行くのでは。練習してるのか、負け戦でも11秒台のハロンで捲り追い込んだ②(脇田)が狙ってるのは、再度の捲りか。③(宮原)が連携。尚、2日目は別々だった熊本コンビは、何かやる(中山)に⑥(宮路)で並ぶ。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 大崎龍一郎 脚がカクカクしたが、結果は2着なら悪くない。自力・自在。
- △ 2 脇田良雄 もう少し早く行けてればワン・ツーだった。決めず。
- × 3 宮原英司 展開だけはどうする事も。脇田さん。
- 4 中畑利英 内から来られたのが痛かった。再度大崎。
- 5 浅見敏也 付いては行けてるので。こゝは近畿の3番手。
- 6 宮路智裕 伸びは悪くない。こゝは敬太郎(中山)。
- 7 中山敬太郎 宮路さんに任されたので前々です。

<展開予想>

← 7 6 【1】 4 5 【2】 3

<穴を探る> (脇田)の捲りが狙い。 2-1 2-3

2車単 1-4 1-2 1-3
3連単 1-4-2 3 5

■ ■ 2 R ■ ■ 出走表 (本命率 35%)

<展望>『点数上位「梶原」が連対の軸』

ファン受けする強引な位置取りを主戦法にして闘志の①(梶原)、予選は2周逃げた松本秀之慎に喰い下がり2着をキープしたのに、大事な準決勝は世話に成った事があるで、筋を通して九州4番手を固めたばかりに最下位でゴールしたもの、調子はその迄良いとは言えないが、このメンバーでは図抜けた点数を有して居り、地元には割り込めないで「中団」とコメントしたが勝負処ではシビアに攻める。補充でやって来る②(秋永)には、大先輩③(高田)。3日間に1回は1着がある④(兵動)は、しっかり仕掛けての単進出。近畿の2人は調子的に厳しい。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 梶原 恵介 梅崎は突っ張る作戦だったのに。調子は大丈夫、中団から何か。
- 2 秋永 昂人 (小倉の先輩に任されたので、前で自力主体か)
- × 3 高田 誠 前に離れてはダメですね。昂人(秋永)に任せる。
- ▲ 4 兵動 秀治 赤板で追い出しでなく仕掛ければ良かった。自力・自在。
- 5 大前 寛則 脚は良いですね。兵動に付いて行きます。
- 6 岡田 篤 辻本は梶原に行くなら、決めず。
- 7 辻本 達矢 岡田さんと話をして、梶原君に行きます。

<展開予想>

←【2】3【1】7【4】5 6

<穴を探る>(兵動)の捲りが決まる。 4-3 4-2

2車単 1=2 1=4 1-3

3連単 1-2=3 4

■ ■ 3 R ■ ■ 出走表 (本命率 60%)

<展望>『2日目完勝「斎藤敦」再度の逃走劇』

予選は121期の大物ルーキー松本秀之慎に何度も見られ、叩きに出る勇気に欠けた②(斎藤)、2日目の一般戦は後競りに成ったが、気にせず2周近く逃げ切ったハロンは11秒9、捲りタイプ④(五反田)と2分戦なら逃げて真価発揮。これで3日間一緒に成ったのは①(阿部)③(篠原)の高知コンビ、準決はコメントは別々でも並んでいたが、(阿部)が(斎藤)の番手を主張した事で(篠原)は任せての直線勝負。前回迄とは違う調子の(五反田)は⑥(川添)⑦(安藤)に任された事で自力を考えている。2日目の1着でアピールした⑤(西島)は決めず3連対。

<出場予定選手コメント>

- 1 阿部 弘 力不足で乗り越えられなかった。斎藤君に直付け。
- ◎ 2 斎藤 敦 落ち着いて仕掛けたにしても1着は嬉しい。自力・自在。
- △ 3 篠原 英雄 弘(阿部)と話をして、斎藤君に行くなら3番手。
- × 4 五反田 豊和 前に付いて行けないでは調子かも。任されたので自力。
- 5 西島 貢司 兵動君が仕掛けてくれたからの1着。決めず。
- 6 川添 輝彦 余裕はあるんですよ。ラインの五反田に任せる。
- 7 安藤 雄一 厳しいレースでした。貢司(西島)が許してくれたので南九州3番手。

<展開予想>

←【2】13 5【4】67

<穴を探る>(五反田)の捲りが決まる。 4-6 4-1

2車単 2=1 2-3 1-3

3連単 2=1-3

■ ■ 4 R ■ ■ 出走表 (本命率 50%)

<展望>『着以上に強い「下沖」のライン優勢』

関東遠征の2場所があまりにも不本意過ぎた④(下沖)、それで大好きな小倉に向けて練習したのが前2日の逃げ、着こそ大きくても内容は光って居り、③(増成)と2分戦に成ったこのレースでも逃げに徹すのでは。番手は大分支部長として頑張ってる①(安東)、展開は最高。チャレンジには落ちたくないで気合入れてる⑦(原)の痛烈差は頭から狙ってみたい。このまゝでは終われない(増成)が強引に主導権握った時は、実力者②(鳥生)が恵まれる。近畿の2人は⑤(仙石)が瀬戸内で、⑥(吉川)は再び切れ目から突っ込む。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 安東英博 予選同様、何時も頑張ってくれる下沖に任せる。
× 2 鳥生知八 曾我部さんと決めたかった。増成さんの番手です。
3 増成富夫 鳥生だけでなく仙石に任された以上はの自力。
○ 4 下沖功児 着は悪いが自分のレースはやれてるので。自力。
5 仙石 淳 吉川と話をして、こゝも増成さんの3番手。
6 吉川 悟 一か八かで内を狙ったら開いた。こゝも決めず。
△ 7 原 司 調子は見ての通り悪くない。南九州の3番手。

<展開予想>

←【4】 1 7 6【3】 2 5

<穴を探る> (増成) 3日目こそはの自力。 2 = 3

2車単 1 = 4 1 - 7 4 - 7

3連単 1 - 4 = 7

■ ■ 5 R ■ ■ 出走表 (本命率 60%)

<展望>『「屋良」「屋宜」の沖縄コンビが人気』

8月の小倉で負傷して2ヶ月休んだ①(屋良)、その間は住んでる村を良くしたいで村会議員の選挙もあり、無事に当選したものゝ練習不足が前2走でも、2日間走ったのは凄い練習に成ったそうで、連日気合入れて先行してる④(原井)の番手で復活の勝利。沖縄の仲間③(屋宜)が好追走。自分でやる事にした②(黒田)は九州の内ゲバを流れでは捲る事も。このまゝではチャレンジに落ちる⑦(曾我部)は必死。西九州コンビは⑤(白濱)は着程悪くないので、逃げた時は⑥(三槻)が恵まれる事に成るが・・・？。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 屋良朝春 東矢が行き掛けて止めたのが痛かった。原井君の番手。
× 2 黒田大介 曾我部さんと話して、決めず何かします。
○ 3 屋宜浩二 絶好の3番手だったのに。屋良さんと一緒なら考える事はない。
△ 4 原井剣也 自分のレースはやれたが、内空けたのがミス。沖縄の前で自力。
5 白濱一平 下沖さんに脚負けです。三槻さんと決める自力。
6 三槻智清 西九州ラインで白濱に任せる。
7 曾我部匡史 大介(黒田)に負担掛け度くないので単騎。

<展開予想>

←【4】 1 3【2】 7【5】 6

<穴を探る> 中団はある(黒田)が狙い。 2 - 7 2 - 1

2車単 1 - 3 1 - 4 1 - 2

3連単 1 - 3 - 2 4

■ ■ 6 R ■ ■ 出走表 (本命率 60%)

<展望>『岡山トリオで独占ムード』

調子は前回武雄を優勝した時と変わらない②(高津)、それなのに初日特選は展開にやられ、準決は逃げてくれた久樹克門を残しに行ったばかりに優出を逸したものの、番組は①(米嶋)をプレゼントしたが、⑥(野崎)には世話に成ってるで、筋を通して3番手を固めるが、4コーナーからは真剣勝負。尚(米嶋)は真面目過ぎて練習をやり過ぎたのが前2走、これで又一つ勉強したのでは。予選で連携してる④(桧山)⑤(原田)の地元コンビは許しを得て、調子は悪くない③(堀)に頑張ってもらう事に決める。そこで⑦(中野)は4番手とは言えないので、先手ライン。

<出場予定選手コメント>

- 1 米嶋恵介 完全にオーバーワークで全く出ない。岡山の先頭で自力。
◎ 2 高津晃治 連日、◎付けて貰ってるのに済みません。野崎の後。
× 3 堀 僚介 前の東矢は抜いたと思ったのに、大久保さんが強かった。自力。
4 桧山恭柄 最後は内でしたね。話をして、堀君の番手。
5 原田 礼 初めての原井君が頑張ってくれた。初日同様、恭柄。
△ 6 野崎将史 高津さんがどうしても言うので、米嶋の番手。初めて。
7 中野功史 一平(白濱)が仕掛けてくれたからの2着です。決めず。

<展開予想>

←【1】62 7【3】45

<穴を探る> (堀)に任せた地元コンビを。4=3 4-5

2車単 2=1 2-6 1-6
3連単 2-1=6 1=6-2

■ ■ 7 R ■ ■ 出走表 (本命率 70%)

<展望>『特選の再現は実績の徳島コンビ』

初日特選は見事にワン・ツーを決めた②(久樹)①(二條)の徳島コンビ、逃げ切った(久樹)が準決でもや長谷部龍一の捲りに屈すとは、「競輪」は難しいと思い知らされたもの、こゝで再び連携する以上は本命党の期待を裏切ってはいけない。(久樹)の逃げ切りと(二條)の逆転はほぼ互角。③(良永)が点数を盾に徳島の後に決めた事で、⑥(田川)は九州の新しい仲間になった⑤(関根)と話して、⑦(大利)④(堺)の和歌山コンビの後に。敢えて単騎を選んだ(関根)は、やっと捲りを試せるとばかり内心喜んでいるのでは。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 二條祐也 初日特選同様、後輩久樹に任せる。
○ 2 久樹克門 あれで捲られては力不足、練習します。気持切り替えて自力。
△ 3 良永浩一 準決も久樹の3番手を固めたので、徳島の後。
4 堺 文人 堀に離れたのは反省。後輩大利に任せる。
× 5 関根彰人 良永さん・田川さんと話して、決めず。
6 田川辰二 良永は徳島で、関根は決めずなら、和歌山の後。
7 大利航平 単騎は難しかった。堺さん・田川さんの前で自力。

<展開予想>

←【7】46【2】13【5】

<穴を探る> 単騎(関根)が捲り強襲。5-2 5-1

2車単 1=2 1-3 1-5
3連単 1=2-35

■ ■ 8 R ■ ■ 出走表 (本命率 65%)

<展望>『121期カルテット、注目の攻防』

121期生の4人が順当に決勝進出した事で、A級1・2班戦の決勝よりレベル高い攻防が期待されるファン必見のレース。出来の良さは危な気なく連勝してる①(梅崎)が頭一つリード、予選の2周逃げも強かったが、準決勝のロング捲りは前半11秒1で後半11秒6のけたゝまし。S1の兄秀之介(117期)に遜色無いスピードを有す②(松本)は単騎に成ったが、狙うは捲りで2度目の優勝。(梅崎)とは西九州同士の佐賀コンビは、原司(70期)の弟子なので、③(坂田)が⑦(久保)を連れて考えてるのは先行勝負か。そこで④(三木)が(梅崎)に行く。中部の2人は3日連続、⑤(野崎)は頭をフル回転させての連覇狙い。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 梅崎隆介 久保君と決まったのは良かったが、バック取りたかった。自力です。
○2 松本秀之慎 突っ張れなかったが4番手が取れたし、初日より良かった。優勝狙います。
△3 坂田康季 梅崎さんとは別線で、兄弟子久保さんの前で思い切って。
4 三木健治 佐賀と梅崎は別々なら、初日任せた梅崎。
×5 野崎 翼 厳しいレースでした。2車でも力出し切ります。
6 服部竜二 4・4着で決勝に乗れるとはラッキー。3度び野崎。
7 久保光司 梅崎さんは強い。同門の後輩坂田に任せる。

<展開予想>

←【3】7【1】4【2】【5】6

<穴を探る> (坂田)のスピードが上廻る。3-1 3-2

2車単 1=2 1-3 2-3

3連単 1=2-35

■ ■ 9 R ■ ■ 出走表 (本命率 30%)

<展望>『見応えある変則4分戦の激斗』

熊本期待の星⑦(東矢)、予選の1着より準決の2着は、鐘前から堀僚介から必要以上に牽制され脚使ったのに、鐘過ぎから力でネジ伏せたのにはビックリ、結果は⑤(大久保)に抜かれたが、鬼門の準決を2着で突破したのは自信に成ったのでは、こゝは前回富山は同じ開催だった②(西田)の前で存分にパワー発揮する。予選とは「別人28号」に成ってた⑥(内藤)は、こゝも先輩④(富永)に作戦立てゝ貰い、実行出来れば再び豊橋コンビで連独占も。追い込み転向を宣言したら3場所目でチャンスを得たのは好素材③(山口聖)、練習仲間の①(長谷部)には好きに走らせて決める処はキッチリか。狂い咲きのベテラン(大久保)迄優勝争いは横一線。

<出場予定選手コメント>

- ×1 長谷部龍一 練習で世話に成ってる聖矢さんと初めて決まった。前で自力。
○2 西田将士 初日特選が3着で良かった。富山で一緒だった東矢、連携は初。
△3 山口聖矢 龍一(長谷部)は止められそうだったので待つて踏んだ。再度。
4 富永益生 内藤は練習ではもっと強いんですよ。勿論任せる。
5 大久保直也 野崎が前々に攻めてくれたからの1着。決めず一人。
6 内藤久文 富永さんが、逃げたら全部止めてやると言われたのが勝因。自力です。
◎7 東矢圭吾 堀さんに脚使わされたが力出し切れた。西田さんと決めます。

<展開予想>

←【6】4【5】【7】2【1】3

<穴を探る> 岐阜コンビで再度独占。3=1

2車単 7=2 7-3 7-1

3連単 7=2-135